

市民自治の育て方

～ フューチャーサーチの教育改革と円卓の地域主義 ～

市民自治力向上とアクションリサーチ研究班は、より善い社会を創るための実践的研究について研究してきました。4年間の研究のまとめとして、**愛知県における地域と連動する学校づくり**と**飯田市で展開する住民と行政が協働するまちづくりの実践を取り上げ、ボトムアップ型の市民自治の育て方をテーマに、講演と意見交換の2部構成のセミナーです！**

アクセス



2018年 3月18日 (日) 14:00~17:40

(開場 13:30)

関西大学梅田キャンパス

4階MeRISEラボ

(大阪府大阪市北区鶴野町1番5号)

入場無料
事前申込要

(定員：先着60名)

参加希望の方は、氏名・所属・連絡先を明記の上、下記のお申込み先(関西大学 研究所事務グループ)まで、FAX又はE-mailでお申込ください。

司会： 草郷 孝好
(AR研究班主幹・関西大学教授)

AR研究班： 松井修視、岡絵理子、室田信一、宮本匠

プログラム

第1部 講演

14:00~14:05 開会のことば・セミナー趣旨説明

14:05~15:35 講演

『フューチャーサーチによる子どもと地域の将来のための地域コミュニティ会議
～住みやすい地域づくり実現に向けて～』



津村 俊充

((一社)日本体験学習研究所代表理事・所長)

15:35~15:50

休憩

第2部 事例に基づく意見交換

15:50~16:00 AR班「市民自治の育て方」研究紹介

16:00~16:40 事例

『長野県飯田市の円卓主義行政とりんご並木づくりネットワークに見る市民協働』

西しのぶ

(飯田市産業経済部 商業・市街地活性化課 主査)

桑原 利彦

(りんご並木まちづくりネットワーク・コーディネーター、ギタリスト)

16:40~17:40

意見交換

西しのぶ、桑原 利彦、津村 俊充

17:40

閉会のことば

講演要旨

2000年に入り、愛知県下の某中学校に導入したラボラトリー方式の体験学習を用いた人間関係づくり授業による学校改善が5~6年経過後には大きな成果を得ることができました。そして、さらなる展開として、中学校と地域とが連携しながら子どもたちや地域住民が将来安心して住みやすい地域づくり実現に向けた“フューチャーサーチ”という手法を使った取り組みをご紹介します。

津村 俊充 (つむら としみつ)

さまざまなフィールドにラボラトリー体験学習の導入・実践を試みる。N.T.Lにてラボラトリー体験学習のトレーナートレーニングを受ける。近年Future SearchやAppreciative Inquiry Approachなどの対話型組織開発に関心をもち、南山大学名誉教授。2011年、日本人で初のN.T.L Instituteメンバーとして認められる。